

ゴシック体:指導上,安全確保のために重要と思われるポイント

本時(3学年の1/10)

(1)目標

○相撲に必要な体力要素とその高め方について理解する。(知識,思考・判断)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
5	<p>1. 集合, 整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。</p> <p>2. 本単元の目標および学習活動を理解する。</p> <p>3. 本時のねらい・学習内容を理解する。</p>	<p>○集合, 整列, 挨拶の指示をする。</p> <p>○出欠確認および健康観察をする。</p> <p>○服装の指示をする。 上下体育着, スポーツシューズ, つめ, ヘアピン, めがね等</p> <p>○本単元に必要な用具, 施設の説明をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ 土俵, 相撲マット, または柔道場, 体操用マット ※柔道場, 体操マットを使用する場合は, 俵の代わりにラインテープ等を貼る。</p> <p>○前單元からの流れを示し, 生徒が單元目標および学習活動について理解しやすいように工夫して説明する。</p> <p>○学習ノートの使い方について説明し, 本単元の目標・学習内容などを記述させる。</p> <p>○ねらい・学習内容を, 生徒が理解しやすいように, 工夫して説明する。</p> <p>○学習ノートに本時の目標・学習内容などを記述させる。</p>		
40	<p>4. 前単元の映像を視聴して課題等を確認し, 意欲・関心を高める。</p> <p>5. 前単元で学んだ基本知識を確認する。 歴史, 特性, 礼法, 用具など 基本となる技・関連技術の要点およびその練習方法</p> <p>6. 相撲に必要な体力要素とその高め方を理解する。</p>	<p>○映像の準備に際しては, 課題の確認および意欲の喚起ができるように, 内容を吟味する。</p> <p>○生徒の関心が高まるように, 解説を加える。</p> <p>○歴史, 特性, 礼法, 用具について確認する。</p> <p>○前単元で学んだ, 技の名称や方法, 相撲の練習により高まる体力, 試合の行い方, 武道の伝統的な考え方について復習する。</p> <p>○特に, 礼法や伝統的な考え方に関しては, 今後の学習と関連づけて, その重要性を強調する。</p> <p>○用具については, 1・2年次に柔道の帯を用いていた場合には, 3年次で用いるまわし, 相撲パンツまたは簡易まわしについて説明する。</p> <p>○前単元で学習した, 基本となる技・関連技術の要点およびその練習方法について整理し, パワーポイントやプリントなどの視聴覚教材を用いて解説する。</p> <p>※指導内容に関して生徒に発言をもとめ, 双方向的授業になるよう努める。</p> <p>○体力の概念および構成要素について説明する。</p> <p>○1・2年次の体験から, 相撲に必要な体力要素が何であることを理解させる。</p> <p>○相撲に必要な体力要素の高め方について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な体力要素 筋力・筋パワー, 敏捷性, 柔軟性 ・一般的なトレーニング ウェイトトレーニングほか ・相撲の伝統的な補強運動 四股, 腰割り, 調体 	<p>○相撲に必要な体力要素とその高め方について言ったり書き出したりしている。(知識・理解)</p>	<p>○発言・発表, 学習ノート</p>

	<p>7. 体ほぐしの運動を行う。 簡易的な試合 (既習技に限定)</p>	<p>○簡易まわしまたは相撲パンツを着用させる。 ※まわしを使用する場合には、この時間を使ってまわしの着用方法を指導する。 ○準備運動を行わせる。 ○安全確保の観点から、受け身の練習をさせる。 ○前単元で指導した既習技を確認してから、行わせる。 ○対戦の前と後に必ず立礼をするように指導する。 ○体格別に4, 5人のグループに分け、相手を変えて数回対戦させる。 ○グループ内で審判を決めて行わせる。</p>		
5	<p>8. 整理運動を行う。 9. 本時の評価と次時の課題を整理する。 10. 整列, 挨拶, 片づけをする。</p>	<p>○相撲に必要な体力要素とその高め方について発言していた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容と感想を学習ノートに記入させる。</p>		

本時(3学年の2/10)

(1) 目標

○簡易的な試合で、自己の役割を責任をもって自主的に果たそうとすることができる。(態度)

(2) 展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。 2. 本時のねらい・学習内容を説明する。 3. 準備運動を行う。	○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 つめ、ヘアピン、めがね等 ○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ ○ねらい・学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標・学習内容などを記述させる。 ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。		
35	4. 基本動作を復習する。 <u>蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え、腰割り、四股、調体、運び足、仕切り</u> 立ち合い、受け身 5. 基本となる技を学習する。 (1) 既習技の復習(約束練習) 押しとその関連技術 寄りとその関連技術 前さばき 投げ技(出し投げ)とその関連技術 (2) 新たな技の学習(約束練習) 投げ技(「上手投げ」, 「下手投げ」) ひねり技, その他の技	○教員の一齐指導の下で、動作を確認しながら行わせる。 ※単調な活動になりがちであるので、生徒が関心をもって取り組むことができるように工夫する。 ○2人1組で行わせる。 ○ <u>立ち合い</u> は、 <u>仕切り</u> から素早くかつ強く相手に当たることができるように指導する。 ○ <u>受け身</u> は、中腰の構えから受ける側の右胸に当たり、身体を丸めて安全に転がることができるように指導する。 ○相手に強く当たり、素早く相手を押すことができるように練習させる。 ○ <u>押しの関連技術</u> として、①低い姿勢から押し上げること、②脇をしめること、③背中を丸めて押すことを復習させる。 ○相手に強く当たり、素早く相手を寄ることができるように練習させる。 ○ <u>寄りの関連技術</u> として、①下手は深く上手は浅く取ること、②差した側の腕を返すこと、③下手側に寄ることを意識して前に出るように指導する。 ○ <u>押っつけ</u> 、 <u>絞り込み</u> 、 <u>いなし</u> 、 <u>巻き返し</u> を復習させる。 ○「 <u>上手出し投げ</u> 」、「 <u>下手出し投げ</u> 」を復習させる。 ○いずれも相手を寄ってから「出し投げ」をうち、さらに寄るという連続技として捉えるよう指導する。 ○出し投げをうつ際、体を開くよう指導する。 ○「 <u>上手投げ</u> 」、「 <u>下手投げ</u> 」の要点を解説する。 <要点> ・相手を寄ってから投げる。 ・体を開いて投げる。 ○四つに組んだ状態から、左右練習させる。 ○「 <u>上手ひねり</u> 」、「 <u>下手ひねり</u> 」、「 <u>突き落とし</u> 」について解説する。 ○「上手ひねり」と「下手ひねり」は寄りから派生する技として、また「突き落とし」は押しから派生する技として説明する。 ※視聴覚教材等を用いて説明する。		

	<p>6. 簡易的な試合を行う。 既習技に限定した相撲</p>	<p>○簡易的な試合を行う前と後に必ず立礼をするように指導する。 ○各々の試合の中で、各自、既習技の中から技を決めて行なってみよう指導する。 ○何回かの試合の中で、既習技をなるべく多く試してみるよう指導する。 ○ここでの試合では、勝敗にこだわり過ぎず、技能の習熟を心がけるように指導する。</p> <p>※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。 ※ここでは、自主練習の方法を学ぶ前段階として指導する。</p>	<p>○簡易的な試合で、自己の役割を責任をもって自主的に果たそうとしている。 (関心・意欲・態度)</p>	<p>○観察</p>
8	<p>7. 整理運動を行う。 8. 本時の評価と次時の課題を整理する。 9. 整列, 挨拶, 片づけを行う。</p>	<p>○簡易的な試合で、自己の役割を責任をもって自主的に果たそうとしていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。</p>		

本時(3学年の3/10)

(1)目標

○基本となる技(投げ技)ができる。(技能)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体の評価規準	評価方法
7	1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。 2. 本時のねらい・学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 つめ、ヘアピン、めがね等 ○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ ○ねらい・学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標・学習内容などを記述させる。 ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。		
35	4. 基本動作を復習する。 (1) 蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え、腰割り、四股、調体、運び足、仕切り (2) 受け身、立ち合い 5. 基本となる技を学習する。(約束練習) (1) 押し、寄り、前さばき、投げ技(出し投げ)とそれらの関連技術 (2) 投げ技 「上手投げ」 「下手投げ」 6. 簡易的な試合を行う。 既習技に限定した相撲	○教員の一斉指導の下で、動作を確認しながら行わせる。 ※単調な活動になりがちであるので、生徒が関心をもって取り組むことができるように工夫する。 ○2人1組で行わせる。 ○立ち合いは、仕切りから素早くかつ強く相手に当たることができるように指導する。 ○受け身は、中腰の構えから受ける側の右胸に当たり、身体を丸めて安全に転がることができるように指導する。 ○押しとその関連技術および押しに関連した前さばき(押っつけ、いなし、絞り込み)について、複合的に練習させる。 ○寄りとその関連技術、出し投げおよび寄りに関連した前さばき(押っつけ、絞り込み、巻き返し)について、複合的に練習させる。 ○2人1組で技をかける側と受ける側を決めて、練習する。 ○相手を寄つめてから技を打ち、さらに寄るという連続技として捉えるよう指導する。 ○受ける側が立ち合いで左を差し、投げる側は右上手を取って前に出て、右から「上手投げ」(あるいは、左から「下手投げ」)で投げるという練習をさせる。 ○左右を入れ替えて練習させる。 <「上手投げ」・「下手投げ」の要点> ・相手を寄ってから投げる。 ・体を開いて投げる。 ※習熟度に応じて、「すくい投げ」を解説する。 ○3人1組で、2人が相撲を取り、1人は審判とする。 ○各々の試合の中で、各自、既習技の中から技を決めて行ってみよう指導する。 ○何回かの試合の中で、既習技をなるべく多く試してみるよう指導する。 ○勝敗にこだわり過ぎず、技能の習熟を心がけるように指導する。 ※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。 ※ここでは、自主練習の方法を学ぶ前段階として指導する。	○基本となる技(投げ技)ができる。(技能)	○観察

8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列, 挨拶, 片づけをする。</p>	<p>○基本となる技(投げ技)ができていた生徒を称賛する。</p> <p>○各自に, 本時の学習内容, 自己評価, 課題, 感想を学習ノートに記入させる。</p>		
---	--	---	--	--

本時(3学年の4/10)

(1)目標

○簡易的な試合で健康・安全を確保することができる。(態度)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体の評価規準	評価方法
7	1. 集合, 整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。 2. 本時のねらい・学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	○集合, 整列, 挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ ○ねらい・学習内容を, 生徒が理解しやすいように, 工夫して説明する。 ○本時の目標・学習内容などを記述させる。 ○準備運動を行わせる。 特に, 頸部は入念に行わせる。		
35	4. 基本動作を復習する。 (1) 蹲踞姿勢, 塵浄水, 中腰の構え, 腰割り, 四股, 調体, 運び足, 仕切り (2) 受け身, 立ち合い 5. 基本となる技を学習する。(約束練習) 押し, 寄り 突き, 吊り 6. 簡易的な試合を行う。 多様な技を用いた相撲	○教員の一齐指導の下で, 動作を確認しながら行わせる。 ※単調な活動になりがちであるので, 生徒が関心をもって取り組むことができるように工夫する。 ○2人1組で行わせる。 ○立ち合いは, 仕切りから素早くかつ強く相手に当たることができるように指導する。 ○ 受け身 は, 中腰の構えから受ける側の右胸に当たり, 身体を丸めて安全に転がることできるように指導する。 ○2人1組で, 立ち合いからの押しの練習をさせる。 ○ 両手突き および 突っぱり (交互突き)を解説し, 練習させる。 <突きの要点> ・押しを基本とする。 ・下から上へ突く。 ○2人1組で立ち合いからの寄りの練習をさせる。 ○ 吊り について解説し, 練習させる。 <吊りの要点> ・十分に腰をおろして, 相手より重心を下げてから持ち上げる。 ○3人1組で, 2人が相撲を取り, 1人は審判とする。 ○既習技にとらわれず, 相手の動きに応じて, 自由に攻防を展開するよう指導する。 ○簡易的な試合を行う前と後に必ず立礼をするように指導する。 ○ 安全に配慮し, ルールを守って試合を行うよう指導する。 ※体格や習熟度が同程度の者同士で, 相手を変えて複数回行わせる。 ※試合の中での良い例や悪い例を示し, 解説する。	○簡易的な試合で健康・安全を確保している。(関心・意欲・態度)	○観察

8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列, 挨拶, 片づけをする。</p>	<p>○簡易的な試合で健康・安全を確保していた生徒を称賛する。</p> <p>○各自に, 本時の学習内容, 自己評価, 課題, 感想を学習ノートに記入させる。</p>		
---	--	---	--	--

本時(3学年の5/10)

(1)目標

○健康や安全を確保するために、習熟度や体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。(知識、思考・判断)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい・学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<p>○集合、整列、挨拶の指示をする。</p> <p>○出欠確認および健康観察をする。</p> <p>○服装の確認をする。 つめ、ヘアピン、めがね等</p> <p>○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ</p> <p>○ねらい・学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。</p> <p>○本時の目標・学習内容などを記述させる。</p> <p>○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。</p>		
35	<p>4. 基本動作を復習する。 蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え、腰割り、四股、調体、運び足、仕切り、受け身、立ち合い</p> <p>5. 得意技を習得する。 (グループ学習)</p> <p>6. 試合を行う。 5人制または7人制の団体戦</p>	<p>○男女それぞれ、押しグループ、寄りグループに分ける。(1グループが5人程度になるよう調整する。)</p> <p>○グループごとに、基本動作を確認しながら行わせる。</p> <p>※四股、腰割り等では、号令をかけ行わせる。</p> <p>○本時以降3時間は、自主活動が中心になることを伝え、その進め方について説明する。</p> <p>・これまでの学習ノートを振り返り、練習方法を確認するよう指導する。</p> <p>・計画立案および実際の活動に当たっては、仲間と相談・協力してすすめるよう指導する。</p> <p>・グループ学習では、運動観察が重要となることを説明する。</p> <p>○各グループで、得意技を身につけることを目標とした、本時および次時の練習計画を立てさせる。</p> <p>○練習計画を各自ノートにまとめるよう指導する。</p> <p>○本時の練習計画に基づいて自主活動を行うよう指導する。</p> <p>○巡回し、適宜、助言・指導を行う。</p> <p>○必要に応じて、自主活動の参考となる資料を配布する。</p> <p>○<u>正規の審判法</u>(P120・121、④正規の審判法)について説明する。</p> <p>・全ての動作を土俵内で行う。</p> <p>・開始の礼は塵浄水をもって行わせる。</p> <p>・そのほかは、略式から一歩進んだ審判方に同じ。</p> <p>○競技方法の説明をする。</p> <p>・習熟したい技ごとのグループからそれぞれ、数人ずつ出し、チームを編成する。</p> <p>※リーグ戦にするかトーナメント戦にするかについては、チーム数により決定する。</p> <p>○進行(アナウンス)、記録の方法について確認し、担当を決めておくよう指導する。</p> <p>○試合を行う前の塵浄水、後の立礼をしっかりとるように指導する。</p> <p>○試合を行うに当たっては、必ず審判に従うよう指導する。</p> <p>○安全に配慮し、ルールを守って試合を行うよう指導する。</p> <p>○団体戦終了後に、ミーティングを行い、良かった点や改善すべき点などを学習ノートにまとめさせる。</p>	<p>○健康や安全を確保するために、習熟度や体調に応じて適切な練習方法を選んでいく。(思考・判断)</p>	<p>○観察、学習ノート</p>

8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列, 挨拶, 片づけをする。</p>	<p>○健康や安全を確保するために, 習熟度や体調に応じて適切な練習方法を選んでいた生徒を称賛する。</p> <p>○各自に, 本時の学習内容, 自己評価, 課題, 感想を学習ノートに記入させる。</p>		
---	--	--	--	--

本時(3学年の6/10)

(1) 目標

○自己の技能・体力の程度に応じて、自己に適した攻防の仕方や得意技を選ぶことができる。(知識, 思考・判断)

○グループ学習の中で、仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。(知識, 思考・判断)

(2) 展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	1. 集合, 整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。 2. 本時のねらい・学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	○集合, 整列, 挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ ○ねらい・学習内容を, 生徒が理解しやすいように, 工夫して説明する。 ○本時の目標・学習内容などを記述させる。 ○準備運動を行わせる。 特に, 頸部は入念に行わせる。		
35	4. 基本動作を復習する。 蹲踞姿勢, 塵浄水, 中腰の構え, 腰割り, 四股, 調体, 運び足, 仕切り, 受け身, 立ち合い 5. 得意技を習得する。 (グループ学習) 6. 試合を行う。 各グループでの個人戦	○前時のグループ毎に, 基本動作を確認しながら行わせる。 ○前時の課題を基に, 自己の課題や体力・技能に応じ, 本時の練習計画を見直す。 ○練習計画に基づいて自主活動を行うよう指導する。 ○巡回し, 適宜, 助言・指導を行う。 ○リーグ戦にするかトーナメント戦にするかについては, グループの人数により決定する。 ○審判, 進行係, 記録係等については, 担当を決めて行わせる。 ○試合前の塵浄水と後の立礼は必ず行わせる。 ○試合を行うに当たっては, 必ず審判に従うよう指導する。 ○安全に配慮し, ルールを守って試合を行わせる。 ○試合後に相互に評価・助言し合い, 学習ノートにまとめるよう指導する。	○自己の技能・体力の程度に応じて, 自己に適した攻防の仕方や得意技を選んでいる。(思考・判断) ○グループ学習の中で, 仲間に対して, 技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。(思考・判断)	○観察, 学習ノート ○観察, 発言・発表, 学習ノート
8	7. 整理運動を行う。 8. 本時の評価と次時の課題を整理する。 9. 整列, 挨拶, 片づけをする。	○自己の技能・体力の程度に応じて, 自己に適した攻防の仕方や得意技を選んでいた生徒, およびグループ学習の中で, 仲間に対して, 技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘していた生徒を称賛する。 ○各自に, 本時の学習内容, 自己評価, 課題, 感想を学習ノートに記入させる。		

本時(3学年の7/10)

(1)目標

○グループ学習の中で、互いに助け合い教え合おうとすることができる。(態度)

○得意技を身に付ける。(技能)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。 2. 本時のねらい・学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 つめ、ヘアピン、めがね等 ○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ ○ねらい・学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標・学習内容などを記述させる。 ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。		
35	4. 基本動作を復習する。 蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え、腰割り、四股、調体、運び足、仕切り、受け身、立ち合い 5. 得意技を習得する。 (グループ学習) 6. 試合を行う。 体格別個人戦	○グループ毎に、基本動作を確認しながら行わせる。 ○前時の課題を基に、自己の課題や体力・技能に応じ、本時の練習計画を見直す。 ○練習計画に基づいて自主活動を行うよう指導する。 ○巡回し、適宜、助言・指導を行う。 ○ミーティングなどを通して、グループ学習の成果をまとめさせる。 ○男女とも、体格別に3グループに分け、個人戦を行う。 ○リーグ戦にするかトーナメント戦にするかについては、人数により決定する。 ○審判、進行係、記録係等については、担当を決めて行わせる。 ○試合前の塵浄水と後の立礼は必ず行わせる。 ○試合を行うに当たっては、必ず審判に従うよう指導する。 ○安全に配慮し、ルールを守って試合を行わせる。 ○試合後に相互に評価・助言し合い、学習ノートにまとめるよう指導する。	○グループ学習の中で、互いに助け合い教え合おうとしている。(関心・意欲・態度) ○得意技ができる。(技能)	○観察 ○観察
8	7. 整理運動を行う。 8. 本時の評価と次時の課題を整理する。 9. 整列、挨拶、片づけをする。	○グループ学習の中で、互いに助け合い教え合おうとしていた生徒や得意技を身に付けていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。		

本時(3学年の8/10)

(1) 目標

○勝敗を競う楽しさや喜びを味わいながら、試合に自主的に取り組もうとすることができる。(態度)

(2) 展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい・学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<p>○集合、整列、挨拶の指示をする。</p> <p>○出欠確認および健康観察をする。</p> <p>○服装の確認をする。 つめ、ヘアピン、めがね等</p> <p>○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ</p> <p>○ねらい・学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。</p> <p>○本時の目標・学習内容などを記述させる。</p> <p>○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。</p>		
35	<p>4. 基本動作を復習する。 蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え、腰割り、四肢、調体、運び足、仕切り、受け身、立ち合い</p> <p>5. 試合を行う。 試合方式、審判法および礼法・所作 グループ別個人リーグ戦(無差別個人戦予選)</p>	<p>○前時までのグループ毎に、基本動作を確認しながら行わせる。</p> <p>○リーグ戦およびトーナメント戦について復習する。</p> <p>○審判長、主審、副審の役割について説明する。</p> <p>○塵浄水、勝負が決した後の立礼および勝ち名乗りについて確認させる。</p> <p>○記録係および進行係について確認させる。</p> <p>○試合を行うに当たっては、必ず審判に従うよう指導する。</p> <p>○試合場の安全確認の方法、禁止技、禁止事項について説明するとともに、自主的に安全確保に努めるよう指導する。</p> <p>○技能習熟のために、他を観察し、相撲特有の間合いや気合い等を感じる「見取り稽古」が有効であることを説明する。</p> <p>○本時のグループ別個人リーグ戦を、次時の無差別個人決勝戦の予選とする。</p> <p>○任意に男女それぞれ、1グループ4、5人程度となるようにグループ分けする。</p> <p>○グループ別に個人リーグ戦を行わせる。</p> <p>○各グループの上位2人が決勝戦に進むものとする。</p>	<p>○勝敗を競う楽しさや喜びを味わいながら、試合に自主的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)</p>	○観察
8	<p>6. 整理運動を行う。</p> <p>7. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>8. 整列、挨拶、片づけをする。</p>	<p>○勝敗を競う楽しさや喜びを味わいながら、試合に自主的に取り組もうとしていた生徒を称賛する。</p> <p>○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。</p>		

本時(3学年の9/10)

(1) 目標

○相手の動きの変化に応じながら、基本動作と基本となる技ならびに得意技を用いて、攻防を展開できる。(技能)

○相手を尊重し、試合の中で、伝統的な礼法、所作を大切にしようとする事ができる。(態度)

(2) 展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。 2. 本時のねらい・学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 つめ、ヘアピン、めがね等 ○用具の指示をする。 まわしまたは簡易まわし・相撲パンツ ○ねらい・学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標・学習内容などを記述させる。 ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。		
35	4. 基本動作を復習する。 蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え、腰割り、四股、調体、運び足、仕切り、受け身、立ち合い 5. 試合を行う。 5人制または7人制の団体戦 無差別個人決勝戦	○グループごとに、基本動作を確認しながら行わせる。 ○グループ間でなるべく習熟度に偏りが少なくなるように、チーム編成する。 ○リーグ戦にするかトーナメント戦にするかについては、チーム数により決定する。 ○前時で予選を通過した者による無差別個人決勝戦を行わせる。 ○リーグ戦にするかトーナメント戦にするかについては、人数により決定する。 ○試合を行うに当たっては、必ず審判に従うよう指導する。 ○安全に配慮し、ルールを守って試合を行うよう指導する。 ○武道の伝統的な考え方を意識しながら試合に臨むこと、また、相手を尊重し、伝統的な礼法・所作を自ら大切にすることを指導する。	○相手の動きの変化に応じながら、基本動作と基本となる技ならびに得意技を用いて、攻防を展開できる。(技能) ○相手を尊重し、試合の中で、伝統的な礼法、所作を大切にしようとしている。(関心・意欲・態度)	○観察 ○観察
8	6. 整理運動を行う。 7. 本時の評価と次時の課題を整理する。 8. 整列、挨拶、片づけをする。	○相手の動きの変化に応じながら、基本動作と基本となる技ならびに得意技を用いて、攻防を展開できた生徒および相手を尊重し、試合の中で、伝統的な礼法、所作を大切にしようとしていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。		

